

# 燃料電池、ガス発電装置の新製品をPR デンヨーとニシハツが内覧会を開催

デンヨー株式会社（白鳥昌一社長）及びニシハツ株式会社（野中美智夫社長）は共同で、11月24日～25日の2日間、燃料電池電源車、燃料電池式可搬形発電装置、非常用ガス発電装置など新製品の実機を多数展示した「合同内覧会2021 in 関東」を開催しました。合同内覧会は両社の製品ユーザーなどを招き、複数の地区で毎年開催されています。今回の関東会場は埼玉県坂戸市千代田5丁目のデンヨー株式会社開発研修センター。屋内及び屋外の会場を「電源車」「可搬形発電装置・一般停電用発電装置」「非常用自家発電装置」「携帯発電機・防災グッズ」の4つのゾーンに分けて、実機展示を行い、社員が来場者に丁寧な製品説明を行っていました。

屋外の「電源車ゾーン」では、デンヨー株式会社

及びトヨタ自動車株式会社が共同で実証試験を行っている水素を燃料とする「燃料電池電源車」を参考出品しました。この移動電源車ではトヨタ自動車の燃料電池自動車のセル技術を活用し、製品化を図りました。特長として三相4線式と单相3線式の負荷機器が使用可能で、三相・单相の同時出力も可能としています。三相出力・单相出力の定格出力は合計8.5kW。車輻に搭載された高圧水素タンクの水素貯蔵量は約65kg。72時間連続発電と走行距離200kmの貯蔵力を確保しています。

さらにデンヨー株式会社が開発し実証試験中である「燃料電池式可搬形発電装置」を参考出品しました。実際に発電を行い、給電時のCO2排出量はゼロであり優れた環境性能をPRしました。発電出力は



トヨタ自動車株式会社と共同実証試験中の燃料電池電源車①  
燃料電池用パワーコンディショナー②

実証試験中の燃料電池式可搬形発電装置③  
水素接続部④



現在販売中「LEG-9.9USXT」(単相機)



2022年販売予定の非常用ガス発電装置①  
「NEG-40UST」都市ガス(13A)仕様②

7kVA。建設工事現場や災害発生時の避難所における非常電源として、テレビ中継など取材現地で電力を供給できるといいます。特長として株式会社豊田自動織機の燃料電池式フォークリフトに搭載されている信頼性が高い燃料電池システムを採用し、開発しました。燃料電池システムから出力される直流電力を交流電力に変換する専用の「燃料電池用パワーコンディショナー」も新たに開発し、搭載しています。

「現在、実証運転に取り組んでいます。この取り組みは、環境省による「CO2排出削減対策強化誘導型技術開発・実証事業」として採択されており、実施しているものです。」(デンヨー社員の説明)

屋外の「可搬形発電装置・一般停電用発電装置」「非常用自家発電装置」ゾーンでは、2022年販売予定の天然ガス(都市ガス13A)燃料仕様の**非常用ガス発電装置「NEG-40UST(三相3線式・定格出力40kVA/60Hz)」**を参考出品しました。また、現在販売中のLPガス燃料仕様の**非常用ガス発電装置「LEG-9.9USXT(単相3線式・定格出力9.9kVA/60Hz)」**などCO2排出量削減に寄与するクリーンで極超低騒音型のガス発電装置を一堂



直流発電装置「DCG-12」



消防法適合認定品「PX-150MSR(UB)」

に並べてPRしました。**ニシハツ製防災用自家発電装置「PX-150MSR(UB)」**は消防法適合認定品。病院・老健施設向け極超低騒音型65dB/1m(A)。三相3線式・定格出力150kVA/60Hz。充電監視ユニットCMUを標準装備し、防食性に優れたアルミニウム・マグネシウム合金溶射を施しました。

屋内の「携帯発電機・防災グッズゾーン」では、蓄電池のバックアップ用電源として最適な軽油燃料仕様の**直流発電装置「DCG-12(定格出力12kW)」**など計2タイプを参考出品しました。